

# 湖南省長 全国市長会副会長に就任

6月9日に東京で開催された第88回全国市長会議通常総会において、谷畑英吾湖南省長が全国市長会副会長に就任しました。

全国市長会は明治31年に前身である組織が結成されて120年が経つ歴史ある組織です。

都市間の連絡協調を図り市政の円滑な運営とより良いまちづくりをめざして、全市に共通する課題や単独では解決できない課題を集約して取りまとめ、国に働きかけを行っています。

また、私たちの生活に身近な国の政策に関し、国と話し合いをする機会などもあります。



先日の大阪府北部を震源とする地震の際、谷畑市長は、全国市長会副会長として迅速な対応を行い、発生から1時間後には震度5強以上を記録したほとんどの市長と連絡を取り、今後の対策を協議しました。

## 副会長就任あいさつ

糸賀一雄の「自覚者が責任者」の言葉を心に刻み、「闘う市長会」の副会長として力を尽くしてまいります。



問 秘書広報課(東庁舎)

☎ 71・2314  
FAX 72・1467



先月18日午前7時58分に、大阪府北部を震源とするマグニチュード6.1の地震が発生しました。

大阪市、高槻市、枚方市、茨木市、箕面市では震度6弱を記録しましたが、湖南省市でも震度4の揺れが感じられました。

テレビや携帯電話から緊急地震速報が流れ、驚かれたかたも多かったのではないかと思います。

緊急地震速報は、気象庁が中心となって地震の大きな揺れが到達する前に警報を伝えるシステムですが、今回の場合、揺れの到達が5秒後という表示とともに報じられました。

私はちょうど運転中でしたので、すぐに自動車を安全に停車させましたが、車中では微かな揺れしか感じられませんでした。

実際は阪神淡路大震災のときのような揺れであったと聞きましたが、みなさんはどうだったでしょうか。そして、緊急地震速

報が鳴ってすぐに揺れに備える行動がとれたでしょうか。

私は、すぐにそのまま市役所に入り、危機管理局で被害状況の把握に努めました。市内の被害がほとんどないことを確認すると、間もなく全国市長会長の福島県相馬市長から被害確認の電話があり、健在であると答えると近畿地区の被災市長の支援を依頼されました。

そこで、全国市長会の防災担当副会長である和歌山県海南市長や近畿市長会長の兵庫県芦屋市長、大阪府市長会長の高石市長、和泉市長などと連絡を取り合い、被災地の各市長と直接電話やSNSでつながりながら被害状況を把握するとともに、全国市長会としての支援の準備を伝えていきました。

各市長とも初めての経験であり、公共交通機関が停止したため職員の参集もままならず、たいへん困惑した様子でした。しかし、心配されていた水道も翌日にはスピード復旧しました。

この地震では、倒壊したブロック塀や固定していない家具が原因で5人が亡くなりました。身の回りの老朽ブロック塀や家具の固定については、今一度点検するようにお願いします。